

令和4年度 自己評価・学校関係者報告書

令和5年5月26日

みゆき西こども園

1. 本年度の教育目標

みゆき西こども園

- (1) 豊かな人間性の基礎作りをする。
- (2) 子ども一人ひとりのありのままの姿を受け止め、乳児期に生きる力の基礎を育む。
- (3) 思いやりのある豊かな心を育てる。
- (4) 物事に敏感に反応し、節度ある態度や姿勢を育てる。
- (5) 意欲を高め自己発揮できるようにする。

2. 令和3年度 重点に取り組む目標・計画

- 教育課程の改善
- 教育環境の整備
- 可視化による子どもの成長記録
- 教員の資質向上
- 安全・健康管理

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組みの状況
教育課程の改善	B	認定子ども園教育・保育要領、教育目標、乳幼児の発達や生活の連続性を踏まえ、年間計画、週日案・個別指導計画を定期的話し合い、計画的に日々の教育・保育活動を進めることが出来た。園児の実態、保護者の要望、地域性、コロナ禍の状況等を考慮しながら園外保育の行き先や行事の見直しも行ってきた。
教育環境の整備	B	乳幼児が自発的、能動的に活動出来るように環境を整え、子どもの発達に必要な体験が出来るように努めている。 園舎建替にともない、仮園舎等で教育・保育を実施するにあたり、設備の配置等を工夫し、安全に保育が実施できるようにした。 自園方式による完全給食を実施し、給食委託業者との打ち合わせを毎月行い、給食の質の向上、食育に努めている。 育児担当制に取り組むことにより、園児一人ひとりに対する理解が深まり、きめ細かい保育を実現することができた。
教員の質的向上	A	保育教材や保育指導案について各クラス単位で話し合いを持ち、共通認識を持って、取り組みを進めることができた。 学年末には、保育教諭一人一人が1年を振り返り、写真やエピソードをまとめて発表する機会を持つことができた。その結果を共有し、次年度に生かすようにしている。

安全・健康管理	A	<p>怪我や事故には特に気をつけ、施設、設備、遊具等を安全点検し、子どもたちに危険防止の言葉かけ等安全教育を行っている。特に、建替工事中は、見守りの人数を増やし、園児の安全な移動ができるようにした。</p> <p>万が一怪我や事故が発生した場合は園長に報告し、看護師が視診した上で、速やかに保護者に連絡をとり、医療機関を受診する等適切な処置を行った。会議等の場でヒヤリハット事例を共有し、同じ過ちが二度と起こらないように徹底した。</p> <p>年間の災害・防火訓練実施計画をもとに様々な災害を想定した避難訓練を行っている。年に一回、消防隊員から園児に対し、命を守ることの大切さや防火意識を高める指導を受けている。。</p>
---------	---	--

評価(A:十分成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>4つの項目について重点的に取り組んだ結果、各項目の成果と課題を明らかにすることができ、総合的な全体計画を立て、一歩進めることができた。教育環境の整備については、本年度は特に建替えに伴う教育・保育環境の変化があったため、創意工夫により、従来と変わらない質の高い教育・保育が実施できるよう努めた。研修においては、自らの保育内容をレポートにまとめ、振り返ることで保育の質の向上につなげることができ、知識・理解の共有化を図ることができた。</p>

評価(A:十分成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
教育環境の整備	<p>今年度後半からの新園舎では、子どもたちの発達を促すようなより良い環境を提供できるようにする。こどもたちが興味や関心をもって主体的に関われる環境を構成し、各クラスにおいても遊具の充実を図り、遊びコーナーを創意工夫していきたい。今後は保育環境スケール(ECERS)の理解を深め、乳幼児一人ひとりが周囲の環境に働きかけ、興味や関心を持って関わられるような環境づくりの改善に努めたい。</p>
教員の資質向上	<p>一人ひとりの発達の特性を理解し、個別の対応や集団での活動など、計画的に環境を構成し、カリキュラムを作成し、保育・教育活動をより豊かなものにしていきたい。小学校生活に対して期待を持つことができるよう、育てたい能力や資質としての「3つの柱」や自立心、共同性、思考力の芽生えなど「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」をもとに乳幼児の保育の充実を図っていきたい。今後も積極的に園内外の研修会、研究会等に参加し教員の資質向上に努めていきたい。</p>

6. 学校関係者評価委員会の評価

【保護者の評価】

- ・育児担当制により、子どもと先生の良い関係が築け、楽しく登園できるようになった。
- ・参観の際に育児担当制についての説明があり、良く理解できた。
- ・先生全員が名札をつけ、写真も掲載されており、すぐに認識できたので良かった。
- ・参観時に建て替え工事の説明やバス送迎の説明を聞くことができ、不安が解消された。
- ・園からのお便りを共有することができるよう、イロドリリンク (ICT) の活用を提案したところ、直ぐに導入され、仕事の合間に閲覧できで便利になった。
- ・仮園舎が綺麗な建物で良かった。ただ、駐輪スペースが狭い。
- ・バス送迎に不安があったが、マニュアルも事前に提示され安心できた。
- ・乗車時にも何度も名簿を見ながら人数確認をしていた。
- ・クレーン車が設置された時は危険を感じたが、園側が工事側と交渉し対策を説明されて安心できた。他の保護者へもすぐに周知されていた。
- ・夏祭りや発表会、運動参観等がコロナに配慮しつつ実施され、親子共にとても楽しく参加でき、子どもの成長も見ることができた。
- ・子どもが発熱時に、兄弟も休むルールを緩和してほしかった。
- ・子どもが転倒して怪我をした際、すぐに受診して頂き、親としては安心できた。
- ・スイミングスクールの体験に複数回参加でき、子どもがプール好きになった。
- ・乳児の参観ではコーナーが複数設けられ、親子でそれぞれに楽しむことができた。
- ・年長組の卒園式が新しい園舎で実施され、気持ちの良い卒園式を迎えることができた。
- ・ポートフォリオで日々子どもの園での様子を毎回楽しみに見ることができた。

【学識経験者による評価】

- ・地域性を理解し、子どもや家庭の課題に配慮しながら、保育・教育を展開できてきた。
- ・乳幼児保育アドバイザーの導入により、保育者の意識の変化が見られ、充実した保育実践につながってきた。
- ・保育者独自のアイデアを活かしながら意欲的に保育環境を整えようとする姿勢がそれぞれの保育者の中に育ちつつある。

※財務状況

公認会計士により、適正に運営されていると認められている。